

由緒ある戸田市指定無形民俗文化財を 次世代へと受け継ぐために。

しもとだ ししまいほぞんかい
下戸田ささら獅子舞保存会 (公社) 全国シルバー人材センター事業協会 (埼玉県戸田市)

無形民俗文化財の指定が
「保存会」結成の契機に。

夏の陽射しが照り付ける中、村祈祷で町内を回っている獅子舞衆が、氏子の家を訪ねて来ました。3頭の獅子と4人の笛、旗持ち、太刀持ち、花笠…。その登場に庭の空気が二変し、祈祷の場へと変わります。笛と太鼓に合わせ、3頭の獅子が厳かに舞い始めました。

夏祭りでは舞いを披露している獅子舞衆は、「下戸田ささら獅子舞保存会」の会員です。

下戸田ささら獅子舞は、元禄時代にはすでに存在してい



たと言われる由緒ある民俗

芸能です。昭和49年、ささら獅子舞が戸田市指定無形民俗文化財に指定されたのを機に「下戸田ささら獅子舞保存会」が設立されました。

夏祭りや秋祭りで由緒
ある獅子舞を奉納。

「保存会」は40年を超える活動実績を誇り、地域に根付いた活動をしています。毎週水曜日の午後7時〜午後8時30分、東部福祉センターで練習を行います。そして、7月の夏祭りと10月の秋祭りの2回、疫病退散・五穀豊穡を祈願して氷川神社に奉納します。

氷川神社から町に繰り出す村祈祷では、町に点在する稲荷や氏子の家々を回りながら、身の穢れを祓い清めるみそぎの舞いを繰り広げます。祭りの日は、午前8時30分に始まり、村祈祷を終えて氷川神社に戻るの午後10時30分

頃になるといいます。

「夏祭りは暑くて大変ですが、『いい獅子舞を見せていただきました』とか『暑い中、ご苦労さま。これからも頑張ってください』と言われると嬉しいですね」と、代表の新井さん。

「保存会」は、祭り以外にも依頼があれば出向いて舞いを披露します。平成25年度には、市の収穫祭と東京都板橋区のイベントに参加しました。

ささら獅子舞を伝承する
後継者の育成が課題。

「保存会」の会員数は23名で、その大半が65歳以上の高齢者です。そのため、下戸田ささら獅子舞の普及啓発に努め、いかに会員を増やすのかが最大の課題としています。

普及啓発のために、戸田市教育委員会と連携して市内の小学校でささら獅子舞のDVD鑑賞会を開いたり、ポスターを掲出したりするなど、

新たな会員獲得に向けて試

行錯誤しています。また、会の運営にも目を向け、今後はレクリエーションを交えながら活動していく方策も検討しています。

その一方で、全部で19を数える舞いごとに3つの獅子の動きや笛の演奏などを映像として記録するなど、アーカイブとして残す活動も積極的に進めています。

「保存会」では、今後も市教育委員会と連携し、下戸田ささら獅子舞を次世代に伝承すべく、通常の活動に加えてPR活動も行っていきます。

